

2017年9月18日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報

リオ市南部『ホシーニャ（国内最大のスラム街）』で銃撃戦が発生（17日未明）

9月17日（日）未明、リオ市南部『ホシーニャ・スラム街』で銃撃戦が発生しています。

1 発生日時

9月17日（日）未明

2 発生場所

リオ市南部『ホシーニャ・スラム街（Rocinha）』

3 発生状況

- （1） 17日未明、リオ市南部に位置する『ホシーニャ・スラム街』において、銃撃戦が発生しています。
- （2） 約50名の武装集団が同スラム街に押し入り、同スラム街を根城としている麻薬密売組織を襲撃した模様です。
- （3） 同銃撃戦に伴い、1名が死亡、3名が負傷したと報じられています。
- （4） 本件銃撃戦に伴い、本日早朝から、当地治安当局による同スラム街に対する掃討作戦が展開されています。

4 当館から

- （1） 本件被疑者らは、リオ市北部等、他の地域からリオ市南部へ南下し、同スラム街を襲撃したと見られています。
- （2） 今後も、同スラム街における断続的な銃撃戦が予想されます。また、リオ市北部から南下してきた麻薬密売組織の残党が南部地区に潜伏している可能性も否認できません。
- （3） 当地において、麻薬密売組織間の抗争時に使用される小銃は、射程数百メートル以上のものが一般的で、流れ弾の危険性が多分にあります。
- （4） 同スラム街周辺への通行を極力控えるとともに、リオ市南西部へ向かわれる際には、十分な警戒と情報収集に努めて下さい。